

第31回 日本難病看護学会学術集会 市民公開講座

難病看護の今と未来

みる・きく・語る・対話する

どなたでもお気軽にご参加いただけます

入場無料
申込不要



8月23日（日）

13:20～14:20



獨協医科大学 関湊記念ホール

※当日直接会場までお越しください

講座②

IRUDと看護の役割

患者・家族の体験を踏まえて

診断がつかず悩んでいる方

遺伝医療に関心のある方

看護職の方

座長

桐原 更織 氏 / 関屋 智子 氏

演者

鈴村 宏 氏 （獨協医科大学 遺伝・ゲノム診療部 特任教授）

IRUDを利用されたご家族

（体験談をお話しいたします）

【※IRUD（アイラッド）とは？】

「未診断疾患イニシアチブ」の略で、全国の複数の医療機関を受診しても診断のつかない希少遺伝性難病を、最新の遺伝子解析を用いて正確な病名の確定・原因究明につなげるプロジェクトです。



「診断がつかない」と悩むご家族のリアルな体験談を伺います。
ぜひお気軽にお立ち寄りください！

アクセス

電車 東武宇都宮線「おもちゃのまち」駅下車

西口より徒歩約15分（獨協医大病院前行きバスで約3分）

お車 北関東自動車道「壬生IC」から約3分 無料駐車場完備

学術集会運営事務局（獨協医科大学看護学部内）TEL 0282-87-2489

nanbyo-31jimukyoku@dokkyomed.ac.jp

<https://www.supportoffice.jp/jiins2026/>

★本講座の会場：獨協医科大学 関湊記念ホール

